

# 令和5年度半田市6次産業化農業者支援プロジェクトリーダー評価委員会 要旨録

開催日時	令和6年1月16日（火）13時30分～15時	
開催場所	半田市役所4階 庁議室	
会議次第	1. 挨拶 2. 活動報告 3. 評価委員からの質疑応答 4. 評価結果発表、意見交換	
出席委員	（評価委員）農業関係者 長尾興家、半田市副市長 山本卓美、半田市企画部長 山田宰、半田市市民経済部長 大山仁志 ※敬称略	
その他出席者	（オブザーバー）半田市長 久世孝宏 ※敬称略	
次第	議事要旨	
【挨拶】	(市長) 皆様大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。プロジェクトリーダーの登用は、民間人材登用と6次産業化農業者支援事業の推進という、2本立ての重要施策です。この評価委員会では、皆さんと一緒に、プロジェクトリーダーというポジションをさらにブラッシュアップしていくような会にしたいと期待しています。よろしくお願ひいたします。	
【活動報告】	(プロジェクトリーダー) 半田市6次産業化農業者支援に関する取り組み状況について、以下の項目を順に説明 ・今年度取り組んできたこと •なんでも相談窓口の創設 •イメージの共有による緩いつながりの理解促進 •他分野との農業をテーマとしたつながりの創設 •「稼げる農家」「語れる農家」の種まき •職員の意識改革 •農業をテーマとしたコミュニティ「にこもぐ」の活用による半田市の農業価値の向上について	
【活動報告への質疑・意見交換】	(長尾委員) ・様々な取り組みをしていただいている。この取り組みが継続することが大切である。地域全体の農業振興を望む。	
	(プロジェクトリーダー) ・イベントを通じて経営戦略をお伝えしている。農業のヒントを得ながら、価値のつけ方を学んでいただいている。	
	(副市長) ・職員の意識改革について、職員には人事異動が伴うことについて、どうお考えか。	
	(プロジェクトリーダー) ・農家のビジネスモデルは一人ひとり違う。職員間で、抽象化されたイメージを共有し、それが考え方行動することが大切である。	
	(企画部長) ・若い世代へのアプローチはどのようにお考えか。	
	(プロジェクトリーダー) ・今、若手農家が活躍しており、東京でのふるさと回帰支援センターでもPRされている。今後もPRが大切であり、良い価値につながる。	
【評価結果発表】	(市民経済部長) ・職員の意識が変わった。関係者の方々の意識も変わってきたと感じる。そこからどう発展していくのか、今後に期待したい。	
	(副市長) ・農家、職員双方が自ら考えて動けるような仕組みを考えていただいている。評価委員会では高評価とし、評価内容を市長へ伝える。	